

# CSR REPORT 2012

## 編集方針

横浜ゴムグループは、「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」をCSR経営ビジョンに掲げています。企業としてCSRをどのように考え、どのような活動をしているかをステークホルダーの皆さまにお伝えするために、CSRレポートを毎年発行しています。

2011年度は、2010年度に定めた「7つの重点課題」を基に、グローバルな視点で活動を本格的にスタートさせました。また、新しい試みとして、CSR活動の進捗状況を「見える化」するためのKPI(Key Performance Indicator)を設定。今後は、指標の継続的改善が図れるよう活動を推進するほか、社会からの期待や要請を受け、適宜KPIの見直しも行っていきます。

なお、2011年度より決算期を12月31日に変更したため、本レポートでは主に2011年4-12月の活動を報告しています。その後の取り組みについても一部紹介しています。

CSR経営ビジョンを実現するために、皆さまからの貴重なご意見を今後の活動の参考にさせていただきたいと思いますので、Webサイトから忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

Web版アンケート

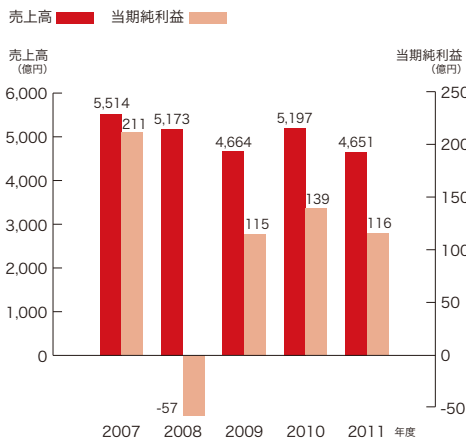
<http://www.infoword.jp/enquete/ycrc2012/>

## 横浜ゴムグループの概要 (2011年12月31日現在)

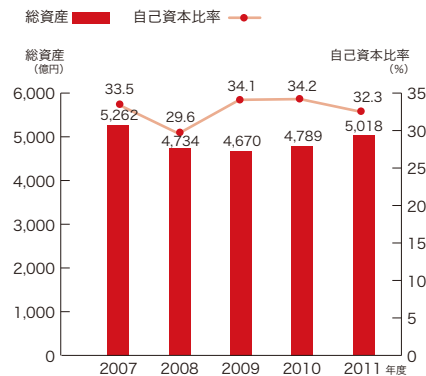
会社名	横浜ゴム株式会社	従業員数	19,272人 (連結)
創立	1917年10月13日	株主数	15,171人
資本金	389億9百万円	発行済み株式総数	342,598,162株
売上高	4,651億3千3百万円 (連結)	連結対象子会社数	120社
決算期	12月31日*	持分法適用会社数	2社
代表取締役会長兼CEO	南雲 忠信	上場証券取引所	東京、大阪、名古屋
代表取締役社長	野地 彦旬	事業展開をしている国・地域	日本、米国、カナダ、オーストラリア、ドイツ、フィリピン、ベトナム、中国、タイ、ロシアなど
本社所在地	〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号	U R L	<a href="http://www.yrc.co.jp">http://www.yrc.co.jp</a>

\*海外決算子会社との決算期の統一などを目的に、2011年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。

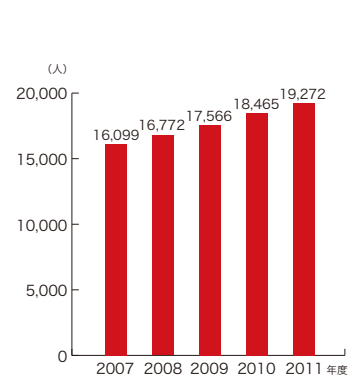
### 連結売上高・当期純利益



### 連結総資産・自己資本比率



### 連結従業員数



## ウェブ版のご紹介

情報の網羅性を重視して、GRIガイドラインを参考にウェブ版を作成しています。

冊子版には掲載されていない、詳細なデータも開示していますので、併せてご覧ください。

<http://www.yrc.co.jp/csr/>

### かんたん検索

お探しの情報を、キーワード、サイトマップ、GRIガイドライン、7つの重点課題から検索することが可能です。



### 冊子の内容

アンケートはこちらです

### ウェブ版のコンテンツ

- 2011年度活動報告
  - ・コーポレートガバナンスとコンプライアンス
  - ・環境保全
  - ・従業員と共に
  - ・社会と共に
  - ・取引先と共に
  - ・株主・投資家と共に
  - ・お客さまと共に
- 工場・関連会社のCSRレポート
- 会社概要・CSR経営
- CSRレポート関連情報
- YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト

発行年月日 2012年7月  
 報告書の編集責任 CSR情報委員会

02 社長メッセージ

04 編集方針・会社概要・目次

06 企業理念・横浜ゴムグループのCSR

08 特集

- 1 08-11 東日本大震災  
— 私たちができること —
- 2 12-13 海外グループ会社における「重点課題」への取り組み  
— ヨコハマタイヤフィリピン —
- 3 14-16 生産拠点周辺の水環境を守る

17 横浜ゴムグループが扱う次世代商品

18 横浜ゴムが取り組む7つの重点課題

- 20-21 環境経営の推進
- 22-23 安全健康な職場環境
- 24-25 製品・サービスの安全と品質
- 26 人権・労働慣行
- 27 取引先との信頼関係
- 28-29 ステークホルダーコミュニケーション
- 30 コーポレートガバナンスとコンプライアンス

31 第三者意見／第三者意見をいただいて

### 見直しに関する注意事項

本報告書の記載内容には、現在の事実だけでなく、将来の予測、計画、目標などが含まれています。これらは現時点（2012年5月）で入手できた情報に基づく仮定な判断であり、不確実性が含まれています。実際のパフォーマンスは、横浜ゴムグループの事業活動だけでなく、世界経済の動向、地球環境の変化などに影響を受けるため、本報告書に記載した予測、計画、目標が実際とは異なる可能性があります。読者の皆さまには、このことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。